

第38回武豊町地域公共交通会議 議事録

日時：令和3年12月7日（火）

14：00～16：10

武豊町役場 北庁舎2階 全員協議会室

○司会（防災交通課長 長谷川）

- ・それでは定刻となりましたので、ただいまから「第38回武豊町地域公共交通会議」を開催させていただきます。委員の皆様方におかれましては、大変お忙しい中、ご出席を頂きまして、誠にありがとうございます。
- ・会議に入ります前に、欠席者の報告をさせていただきます。15番桑山委員の欠席の連絡がありました。また、代理出席のご連絡を頂いております。16番小島様、17番北川様、18番渡邊様に代理出席を頂いております。
- ・あわせて、本日の傍聴人は0名です。なお、この会議は公開で行い、開催内容につきましても町のホームページなどで広くお知らせしますので、よろしくお願い致します。
- ・次に資料の確認をさせていただきます。
- ・開会にあたりまして、会長であります、靱山芳輝武豊町長よりご挨拶を申し上げます。よろしくお願い致します。

1. 会長あいさつ

○靱山町長

- ・こんにちは。本日はご多忙の中、第38回武豊町地域公共交通会議に出席頂きありがとうございます。委員の皆様には、日頃から、それぞれのお立場で町行政、公共交通事業に対してご支援、ご協力を頂き、改めて御礼申し上げます。
- ・本町のコミュニティバスですが、コロナ禍で利用が減少しておりましたが先月11月では約5900人の利用で、コロナの禍以前の9割まで戻りつつあります。
- ・公共交通の利用により、カーボンニュートラルの一助になると理解しています。また、住民の皆さんの生活の足として、安心してご利用頂けるよう、取り組んで参ります。
- ・これまで地域公共交通網形成計画に基づきコミュニティバスの運行をしてきました。今年度末で計画期間が満了になります。令和4年度から令和8年度までの5カ年を計画期間とした新たな計画策定のため、2カ年にかけて町民アンケート調査や住民の皆さんとワークショップを実施し、多くの皆様にご意見・ご要望を伺って参りました。本日は頂いたご意見・ご要望を基に、生活の足を考える会の皆様と検討を進めてきた内容につきましてご審議を頂きたいと思っております。主な内容につきまして、3点ほどご案内させていただきますと、1点目、南部青ルートを延伸や逆回りの走行とすることの案について、2点目、接続タクシーについて、自宅から最寄りのバス停留所までタクシーを利用して頂く方法の案と、その社会実験の実施について、3点目は令和4年4月に屋内温水プールが供用開始となることから、地域交流センター停留所の名称の変更を提案しています。
- ・令和4年度の交通計画の策定に向けて、来年1月にパブリックコメントを実施し、3月には仕上げたいと考えておりますので、引き続きご審議をお願い申し上げます。

- ・本日の議事としては報告事項3件、議案4件、その他1件を予定しています。
- ・皆様から忌憚のないご意見をお願い申し上げまして、挨拶とかえさせていただきます。

○司会（防災交通課長 長谷川）

- ・それでは、改めまして本日の出席委員は、19名です。
- ・「規約」第6条第3項の規定による、過半数を超えるご出席を頂いており、本日の開会要件を満たしておりますので、これより議事に入らせて頂きます。
- ・「規約」第5条第5項に「座長は交通会議の議長となる。」とありますので、次第の「2. 報告事項」より、座長であります、伊豆原先生に進めて頂きます。先生、よろしくお願い致します。

2. 報告事項及び議案

（報告事項）

●報告事項1 本町における地域公共交通の利用実態について……資料1～4

○伊豆原座長

- ・それでは、次第に沿って会議を進めさせていただきます。
- ・会長から挨拶でありましたように、報告事項3件、議案4件、その他1件あります。忌憚のないご意見を頂戴して、少しでも武豊町の公共交通のお役に立てるように議論したいと思います。よろしくご審議お願いします。報告事項1の「本町における地域公共交通の利用実態について」です。事務局より説明をお願いします。

○事務局説明（田中）

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・コミュニティバスの利用状況、接続タクシーの利用状況について報告頂きました。
- ・ご質問等ありますか。

○山内委員（中部運輸局愛知運輸支局）

- ・利用がコロナ前の9割に戻ってきた。これはすごいこと。他の地域では多くて7～8割。皆様のご努力の結果と感じます。

○伊豆原座長

- ・よい話を頂きました。会の努力、行政の努力、委員の皆さんの努力の賜物だと思います。
- ・コロナ以前の水準までもう少し。皆さんに利用されて、ゆめころんがいいと言われる人が多くなればと思います。
- ・その他質問ありますか。報告を受けたとして進めさせてさしてよろしいでしょうか。
- ・特に無いようです。確認頂いたとして次の議事に移ります。

●報告事項2 南部青ルート車両更新について…資料5

○伊豆原座長

- ・続きまして、報告事項2の「南部青ルート車両更新について」です。事務局より説明をお願いします。

○事務局説明（田中）

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございます。南部青ルート車両更新について前回は報告を頂いております。ご質問等ありますでしょうか。いろんなご事情があります。事務局も大変。来年度予算については予定しているということよろしいでしょうか。

○事務局（岩川）

- ・予定しております。随時報告させて頂く。

○伊豆原座長

- ・町の予算は3月議会だと思います。よろしくをお願いします。
- ・他にありますか。報告を受けたとして進めさせて頂いてよろしいでしょうか。
- ・特に無いようです。確認頂いたとして次の議事に移ります。

●報告事項3 令和3年度住民ワークショップの報告について……資料6

○伊豆原座長

- ・続きまして、報告事項3の「令和3年度住民ワークショップの報告について」です。事務局より説明をお願いします。

○事務局説明（田中）

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございます。会議の前までワークショップをして頂きました。私も参加しました。いろんな意見を頂いた。その意見を報告して頂きました。これを何とか計画に反映できるものは反映していきたい。それを考慮して資料を確認頂きたい。
- ・ご質問、ご意見ありますでしょうか。あとで、この意見をうけて次の議案に展開されています。
- ・ご質問がないようです。報告を受けたとして進めさせて頂いてよろしいでしょうか。
- ・特に無いようです。確認頂いたとして次の議事に移ります。

(議案)

●議案第1号 来年度のコミュニティバス(南部青ルート)事業(案)と接続タクシー事業(案)および利用促進事業を通じた「武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会」による新しい接続タクシーの社会実験計画(案)について……………資料7-1~4

○伊豆原座長

- ・ここから、議案となります。議案第1号「来年度のコミュニティバス(南部青ルート)事業(案)と接続タクシー事業(案)および利用促進事業を通じた「武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会」による新しい接続タクシーの社会実験計画(案)について」事務局から説明をお願いします。

○事務局説明(田中)

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。コミュニティバス南部青ルートの変更と接続タクシーに関して説明頂きました。
- ・コミュニティバス南部青ルートについてまずご意見ををお願いします。

○石原委員(議会議長)

- ・逆回りについて、色々な場で検討されたかと思うので反対するものではないが、利用実績をみると、名鉄知多武豊駅に近い所、国道の停留所の利用が多い。ゆめたろうプラザの利用もイベントがある時は多い。逆回りになると、名鉄武豊駅から利用が多い人たちが先に乗車し、終点までに時間がかかる。ゆめたろうプラザまでの時間も少し増える。
- ・その点については、利用実績もふまえての結論でしょうか。

○事務局(田中)

- ・町コミュニティバスは一方の走行でしかないため、その一方により、目的地まで近くなる人、遠くなる人がいるということは起こりうる中で、今回逆回りとさせて頂いた。理由と致しましては、カバー人口を増やすことや、逆回りとすることで、追加させて頂くことが可能となる停留所もあるためです。総合的に判断させて頂き、逆方向で進めさせて頂きたいとしております。

○石原委員(議会議長)

- ・逆に目的地に近くなる人もいますので、仰っていることはわかる。ぜひとも、逆方向にした後に、どのようなイメージを持たれたか、利用者へアンケートをとって頂ければと思う。

○羽山委員(大足区長)

- ・地域交流センターと屋内温水プールの間の道路はポールが建ち、通行できなくなるが、その影響はどう考えているのか。

○事務局(田中)

- ・変更後のルートは、屋内温水プールも想定したルートになります。道路の封鎖を知る前のルート案であるため、資料で記載しているルートでは影響が出るものとなっておりますが、現在は、今後の道路計画を把握しており、影響が出ないルートで検討を進めております。

○伊豆原座長

- ・プールの開設と逆回りの方がアクセスしやすいという提案。利用者がどのように判断するか。追跡調査をしてデータをとっていくことは重要。計画では10月での変更。皆さんに確認し、進めて頂きたい。
- ・接続タクシーについてご意見をお願いします。よろしいでしょうか。実験中は無償ですね。

○事務局（岩川）

- ・実験期間中は、生活の足を考える会の負担として実施致します。

○伊豆原座長

- ・自己負担額についてどうみるか、アンケート調査で確認することになる。具体的に金額を聞くべきか、利用金額をいくらにすべきか。支払い意思額と呼ぶが、この点についてアンケートで聞いてみても良いと思うが、委員の皆様はどう思いますでしょうか。

○山内委員（中部運輸局愛知運輸支局）

- ・高齢化に伴い、どこの自治体でも課題となっている。以前は、ラストワンマイルと呼ばれる、到着目線で目的地に行きつくことに関して考えられていたが、今はファーストワンマイルと呼ばれる、出かける際のはじめの一步が注目されている。最初の利用の第1歩をどのように生み出すかという議論。
- ・タクシー利用について、3名での固定利用が悩みという話があった。ヘビーユーザーと町の財政のバランスをどのようにみるか。自治体のコミュニティバスについては、100円や200円といった相場観があるが、タクシーの相場観は形成されていない。接続タクシーが利用されれば、町の財政負担が増えていく。利用者を増やすことがよいのか、町の財政負担を増やしても良いのかというせめぎ合いがどうしてもこのような取組みでは生まれる。
- ・支払い意思額という問題が重要であり、まずは、出かけることの重要性を確認することが必要。取組みを始めてからでは後悔してしまう。まずこの取組みの重要性を話し合うこと、町財政とのバランスを含めて随時、話し合いの継続が必要である。

○事務局（田中）

- ・財政負担とのバランスは悩んでいる。継続して悩む部分と理解している。
- ・高齢者に無料券を交付している一方で、今後の、新しい制度の中では、高齢者にも一律同じ自己負担が発生するため、大きな転換となる。お出かけして頂きたいが、財政負担も発生する。引き続き検討したい。

○櫻場委員（生活の足を考える会）

- ・私の希望を発言したい。利用者の負担はワンコインとしたい。町の負担は1000円なら500円。

- ・バスの利用促進もあるが、接続タクシーの利用によって、バスに関係しないタクシー利用にも繋げていきたい。タクシーを気軽に利用できるようにして、自動車を手放してもらいたい。免許証返納を進め、自動車を手放しても困らないように。
- ・高齢者には、まだ、タクシーは贅沢品という意識が残っていると思うので、タクシーを利用するハードルを下げたい。自己負担額が多いとタクシーに乗る機会を作れなくなるので、気軽にタクシーを利用できるように進めたい。

○伊豆原座長

- ・社会実験については、停留所に近い人と遠い人がいる。それぞれの人がいくら自己負担して頂ける意思をお持ちなのか、確認が必要かと思う。
- ・タクシー利用のハードルを下げることは無償の社会実験で実現できる。社会実験では無償でやっても、もしこれからタクシーをバス停留所まで使うとするなら、「いくらまで自己負担できますか」と、アンケートで聞くことは良いかと思う。社会実験の無償の部分についてはタクシーへのハードルを下げるものだと思う。支払い意思額を探ると同時に、家とバス停までの距離も考慮して分析が必要かと思う。質問が増えてしまうが。

○森川委員（安全タクシー）

- ・コミュニティバスの利用は9割との説明だったが、タクシーの利用はまだ戻っていない。愛知県内では、令和2年3月時点かと思うが、13社が撤退、車両1000台、1400人の乗務員が減少している。
- ・タクシー会社が提案できることは、どの場所まで、どこまでの距離を利用されたかというデータは示すことができるかと思う。恐らくそれ以上の利用は無いかと思うので、バスの利用とも比較して頂ければ、何らかの予算的な部分も見えてくるかと思うので、提案としたい。

○伊豆原座長

- ・データを頂いて、距離をチェックできる。利用者の負担にならないかたちで、どう分析するかを検討頂きたい。
- ・森川委員のご発言も含めてアンケート内容について検討してほしい。

○山内委員（中部運輸局愛知運輸支局）

- ・もう少し根本的な話をすると、コミュニティバスは、利用が増えるほど、町としては財政負担が減って嬉しい話になると思う。
- ・接続タクシーは、利用が増えると町の財政負担が増えるため、単純に喜ばないという状況になる。私は3人の現接続タクシーのヘビーユーザーがいることは喜ばしく、表彰するのが本来の在り方であると思うが、そうはならないというところ、社会実験と新しい制度に繋がっているというところ、タクシーとバスという根本的な意味合いの違い、仕組みを確認させて頂きたい。
- ・仕組みとしては、バスの停留所をポイントとしている利用、バスという公共交通を支えていくやり方、持続的な仕組みとして考えている。

○事務局（総務部長）

- ・指摘のとおり、本町のコミュニティバスは10年前に、福祉バスとして始めた。町は、コミュニティバスを中心に考えている。バスの利用を促すツールとして接続タクシー制度がある。
- ・具体的なこともあり、前回の町民アンケートでは、回答頂いた中の60.1%が税負担は妥当だと回答頂いている。
- ・接続タクシーの仕組みにより財政負担が増えると、接続タクシーを利用しない人がどう捉えるか。利用する人もどう捉えるか。その点を踏まえてこの先も行政として事業運営を行っていかなければならないと思います。
- ・本日の意見を含めまして、アンケート調査は座長が具体的に伺うのも手ではないかという事ですので、私共もそのようなかたちでアンケートを取らせて頂こうかと思えます。第一にどこがスタートの考え方になるのか振り返る中でタクシー事業者の方々とも協力して頂ける範囲を確認する中で、社会実験として本日ご提案させて頂いている内容をご承認頂きたいと思っております。全ての貴重なご意見を参考にさせて頂き、進めて参りたいと思っております。支払い意思額、利用地点を確認し、タクシー事業者にも協力頂き、社会実験を許可頂きたい。意見については参考にさせて頂きたい。

○深谷委員（県タクシー協会）

- ・バスが公共交通、タクシーはそれに繋がるものというお話が多かったが、基本的にタクシーも公共交通である。その基本的な部分は外さないで頂きたい。
- ・接続タクシーの利用状況をみると、1回当たり約938円が平均価格。その平均価格があつての200円は、町が財政負担できる範囲なのか、800円も利用者が支払いできる金額なのか、800円負担するのであれば最終目的地とする利用者はいないのか、どのような経緯で整理されてきたのか教えてほしい。

○事務局（田中）

- ・200円の設定は、現時点で仮の設定とさせて頂いている。
- ・税投入が現状妥当だという状況を踏まえまして、初乗り600円、迎車120円かかるタクシーの仕組みの中で、初乗り600円に対してどこまで財政負担できるか議論しております。社会実験につきましても動き出したところでありまして。200円は仮設定という事でご理解頂きたい。

○伊豆原座長

- ・支払い意思額について、利用が増えると町の財政負担が増え、他の行政サービスにも影響が出るということを理解して回答頂きたいが、現実的にはそこまで求めるのは難しい。簡潔にこのサービスを受けたら、あなたはいくらまでお支払いできますかという質問が良いかと思う。
- ・アンケートの内容は、座長・事務局に一任頂き、検討するという事にさせて頂きたいが、よろしいでしょうか。今回の接続タクシーの社会実験について利用される一部町民の方のご意見を聞いてみることにしたい。お聞きしたご意思が全てではなく、参考としてお聞きできればと思いますがいかがでしょうか。
- ・社会実験は大変なこと。櫻場委員が仰つたとおり、まずはタクシー利用のハードルを下げる。使い勝手を経験してもらおう。そういった整理をして頂ければと思う。
- ・ご承認頂いたということですのでよろしいでしょうか。

- ・特にありませんので、承認頂いたとして進め、また3月にご報告としたいと思います。よろしくお願ひ致します。

●議案第2号 南部青ルート「地域交流センター」停留所の名称変更(案)について……資料8

○伊豆原座長

- ・それでは、議案第2号「南部青ルート「地域交流センター」停留所の名称変更(案)について」事務局から説明をお願いします。

○事務局説明(田中)

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。屋内温水プールのオープンに対応するための名称変更です。これについて、ご意見、ご質問はございませんか。
- ・ご承認頂いたということによろしいでしょうか。
- ・特にありませんので、承認頂いたとして進めさせていただきます。

●議案第3号 令和3年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価(案)および令和3年度地域公共交通計画の事業評価(案)について……資料9-1~5

○伊豆原座長

- ・それでは、議案第3号「令和3年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価(案)および令和3年度地域公共交通計画の事業評価(案)について」事務局から説明をお願いします。

○事務局説明(田中)

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。令和3年度の評価について説明を頂きました。資料9-3は県に、他は国に提出する資料です。2月に第三者評価委員会があり、そこで評価を行います。武豊町は第三者評価委員会に該当していますか。

○事務局(岩川)

- ・該当しており、第三者評価委員会にて説明致します。

○伊豆原座長

- ・第三者評価委員会の対応をお願いします。1月20日頃までに提出と聞いています。

○深谷委員(県タクシー協会)

- ・資料9-1の2ページ目の期待する取組について、「鉄道との接続を含めた分析をお願いします」という評価結果の記載がある。それに対し、鉄道との乗り継ぎが確認できたとあり、9

ページ目に後述とある。9ページ目に接続利用が確認できたとあるが、具体的にどの程度なのか、それを踏まえて今後の対応に関する記述があるのか確認させて顶きたい。

○事務局（岩川）

- ・8ページのOD調査結果から、商業施設や鉄道駅の停留所での状況が多いことが確認できています。これより鉄道の乗り継ぎが多いことを整理させて頂きました。

○事務局（田中）

- ・今後の対応は、青ルートの変更等も検討しておりますが、鉄道駅との接続を考慮して対応致します。

○伊豆原座長

- ・武豊町では、駅東の区画整理事業で、駅前ロータリーの整備を進めています。駅東ロータリーへの停留所設置など、鉄道駅との接続を強化する取組も進めているので、その点も説明に加えて頂いたら深谷委員への質問に対する回答にもなるかと思えます。

○事務局（田中）

- ・伊豆原座長から説明頂いたように、区画整理事業も併せまして、青ルートの変更の中で、上ヶ駅との接続も考慮しているので、駅との接続を強化していくことを説明に加えたと思います。

○伊豆原座長

- ・青山駅での接続を行っているので、過去との比較から利用が増えていけば、そうした分析もできると良いです。知多武豊駅やJR武豊駅も同じ。
- ・接続タクシーについては、社会実験の実施も情報として組み込んでおくべきです。
- ・第三者評価委員会は、自治体の取組をPRする場所なので、取組・努力していることを示しておくべきです。
- ・皆さんからもお気づきの点があれば事務局にご報告ください。
- ・指摘頂いたご意見に対する修正、愛知運輸支局との調整による修正については、会長、座長、事務局による確認での対応について一任頂くとして、進めさせて頂きたいがよろしいでしょうか。
- ・ありがとうございました。承認頂いたとして進めさせて頂きます。

●議案第4号 武豊町地域公共交通計画(案)について……………資料10—1～2

○伊豆原座長

- ・それでは、議案第4号「武豊町地域公共交通計画（案）について」事務局から説明をお願いします。

○事務局説明（田中）

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございます。前は素案を提出して頂き、今回の案を確認し、1月にパブリックコメントを実施します。パブリックコメントにかけるための計画案です。パブリックコメントで意見があれば、修正を加え3月の交通会議でお諮りします。

○小嶋委員代理（愛知県交通対策課）

- ・15ページの住民ワークショップで、バス車両2台運行を維持する必要があるとの意見。
- ・23ページの事業では、突然3台目の投入の検討も行うとしている。ワークショップで3台目投入の意見が出たためだと思う。
- ・少し異なる考えなので確認したい。

○事務局（岩川）

- ・ご指摘頂いたとおり、住民ワークショップにおいて、3台目の投入も期待する意見がありましたので、その点、繋がるように記載をさせて頂きたいと思います。

○石原委員（議会議長）

- ・23ページの事業で、町の今後の移動サービスのあり方を継続して検討する。これを生活の足を考える会が実施主体となって対応するとしている。
- ・25ページの指標設定では、住民アンケートを調査での住環境への満足度をもってモニタリングするとの表記がある。22ページでは、住民のQOLを高める交通サービスのあり方を検討するとしている。
- ・こうした町の今後の移動サービスのあり方を検討するのは、生活の足を考える会が主体としてだけでなく、町としても検討するはず。町も実施主体としていれておくべき。

○事務局（田中）

- ・ご指摘頂いたとおりであります、これまでの検討も、生活の足を考える会と一緒に進めてきました。実施主体には、町も併記させて頂きます。

○山内委員（中部運輸局愛知運輸支局）

- ・実施主体については非常に重要な記述部分。
- ・この主体部分は、皆さんにご確認頂きたいところです。協議会もしくは交通事業者も入れておくべき箇所もありますし、生活の足を考える会だけでなく、住民という言葉もいれておくべきところがあると思う。愛知運輸支局側で申し上げにくい部分もありますので、地域で検討してほしい。
- ・接続タクシーの在り方を検討しているが、その評価指標として入れていくべきなのかどうか判断難しいが、検討頂きたい。方法などについて、計画への記述を検討してほしい。
- ・現状の評価指標は、コミュニティバスの利用者数で確認するとなっている。接続タクシーの事業改善をするのであれば、今判断できるか分からないが、頭の片隅に今後の課題として共有した方が良くと思う。

○伊豆原座長

- ・ 23 ページ等でデマンドタクシーの試験運行の実施としている。21 ページではそこが欠けているので確認を。
- ・ 頂いたご意見についての修正は、会長、座長、事務局長に一任させて頂きたい。修正後の計画は、パブリックコメントの実施前に各委員の皆様へ送付させて頂く。
- ・ もし送付させて頂いた修正計画に対してご意見がございましたら、パブリックコメントを実施している期間に、事務局にご指摘頂くこととしたい。
- ・ パブリックコメントの対応を併せて実施し、3月の交通会議でまとめるという手順を進めさせて頂きたい。
- ・ 以上の対応でよろしいか。
- ・ ありがとうございます。承認して頂いたとして次の議事に移ります。

3. その他

●武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会の活動計画等

○伊豆原座長

- ・ それでは、次第の3. その他に移ります。「武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会の活動計画等」についてです。会長であります櫻場さんよりご報告をお願い致します。

○櫻場委員（生活の足を考える会代表）

- ・ 壱町田地区の協力を得てタクシーの社会実験を実施させて頂く。アンケート調査を行い、意見を確認しながら、事業転換を進めたい。

○小島委員代理（愛知県交通対策課）

- ・ マイルートの導入の社会実験のチラシを配布させて頂いた。
- ・ ジブリパーク開業に向けた交通利便性向上への取組みとして行う。

○伊豆原座長

- ・ **Maas** の先駆け的な取り組みです。
- ・ その他皆さんからの報告等ありますでしょうか。特に無いようですね。
- ・ 皆さんの周りの方に、本日の議論をお話し頂いて、交通に関心を持って頂くように促して頂けると助かります。
- ・ それでは私の進行はこれで終了させて頂きます。

4. 閉 会

○司会（防災交通課長 長谷川）

- ・ 伊豆原先生、ありがとうございました。
- ・ それでは、次第の5. 閉会に移ります。閉会にあたりまして、会長であります靱山芳輝武豊町長よりご挨拶を申し上げます。

○会長：靱山町長

- ・ 長時間に渡りありがとうございました。伊豆原先生には進行ありがとうございました。

- ・町としては、環境対策の観点から電動バスの導入を進めます。様々なご意見を頂きましたが、接続タクシーの社会実験を進めます。コミュニティバスのルート変更を令和4年10月に転換するため、引き続き関係先との調整を進め、安心して利用できる公共交通サービスの転換を進めます。
- ・話は少し変わりますが、大東建託が10月に発表した調査で、「住み続けたいまち」の第3位に武豊町が選ばれました。この選ばれた理由の中に、コミュニティバスも影響していると思っています。
- ・令和4年度の予算については、「絆」予算と呼んでいます。絆をテーマに事業案を検討しています。地域のコミュニティ、絆を強くするものとして、コミュニティバスの活用も含めてイベントの実施などを考えていきたい。
- ・引き続き公共交通サービスをより良くしていきたいと思います。本日はありがとうございました。

○司会（防災交通課長 長谷川）

- ・次回「第39回武豊町地域公共交通会議」令和4年3月下旬に開催する予定です。
- ・ありがとうございました。以上をもちまして「第38回武豊町地域公共交通会議」を閉会致します。ありがとうございました。

以上